

□議員名：中岡 英二

1 本市の新型コロナワクチンの接種体制について

論点	ワクチンコールセンターや接種医療機関への電話がつながりにくい原因は何か。
回答	電話が繋がりにくい原因として、コールセンターの回線不足とナビダイヤル案内の途中で切ってしまう事があげられる。現時点での回線増設は困難な状況であるが、引き続き増設に向けて取り組んでいく。

論点	特に高齢者の方には、インターネット予約方法が分かりにくい、今後改善していくのか。
回答	全国共通のリーフレットが見つらいということもある。いろんな課題が見えてきたので改善等を検討していく。スマートフォン等を窓口を持参して頂ければ、職員が予約操作をお手伝いする支援窓口を設置する。

論点	16～64歳の市民に対しての予約接種券は、混雑を避けるためにどのように配布していくのか。
回答	基礎疾患のある人・高齢者施設の従事者・60歳以上は6月21日から予約開始。50歳以上は7月1日・16歳以上は7月19日から予約を受け付けて、コールセンターの混雑緩和につなげていく。

論点	仕事を持つ若い世代の接種が始まるが、働いている方が受けやすい接種環境を考えているか。
回答	現在、集団接種会場を土曜日に増設だとか、日曜日の開設を含めた検討をしている。また、医療機関も国の財政支援を活用して休日や時間外の接種を検討している。

2 市民病院のワクチン接種体制について

論点	市民病院のワクチン接種は、計画通り進んでいるか。
回答	ワクチン接種は、毎週月曜日と水曜日の午後2時から午後4時45分までの受付時間となっている。1日の接種人数は5月10日から5月26日の間は40人で、5月30日からは80人の接種を行う。現在のところワクチン接種は、計画どおり進んでいる。

論点	5月30日から接種が倍の80人になるが、接種するマンパワーは確保できているのか。
回答	ワクチン接種に係わる人員体制は、医師1名、看護師3名、薬剤師1名、事務5名の10人体制で行っている。受付や問診に多少時間が長くかかると思うが、受付・問診に職員を動員できるよう必要な人員は確保している。

論点	ワクチン接種で余ったワクチンは、どのように処理されているのか。
回答	急なキャンセルが出た時には、余剰対応リストで補充を行っている。これまでのところ余ったことはないが、今後そうした対策は続けていく。

論点	ワクチン接種をスムーズに進めていくために、何か市民への要望があるか。
回答	スムーズに進めるためには市民の協力が欠かせない。体温を測る、予診票の記入を確実にして半袖になれる服装で来てほしい。本人確認・お薬手帳等の必要な書類を忘れないようにしてほしい。

3 路線バス再編成計画について

論点	路線バスの利用者の推移の現状は。
回答	2018年度が85万2481人。2019年度79万2735人。2020年度64万6822人で、年々減少傾向にある。

論点	バス運行に係わる補助金の推移は。
回答	バス事業者3社に補助金を交付しており、その合計は2018年度が1億3032万円。2019年度1億3176万円。2020年度1億5373万円で、利用者の減少に伴い年々増加傾向にある。

論点	運行本数を増やして欲しい要望に、どう取り組んだか。
回答	高畑・高泊循環線の江汐公園への乗り入れ、銚鉄バスの山口東京理科大学への乗り入れ、利用ニーズのある病院・大型商業施設への乗り入れにも関係者と連携して取り組んでいく。

論点	南部地域の将来の交通ビジョンを、どう考えているのか。
回答	2 か所あるバス拠点を 1 か所にするなど、効率的な運行につなげていきたい。